

■ コンセプト

- 「御堂筋南域(南船場・長堀・心斎橋・道頓堀周辺)」は、大阪商人の生活文化を色濃く感じさせるエリアである。「豊かな生活文化を体感しながら、個性ある都心魅力を歩いて味わえる街(ウォーカブルな街)」を目指して、集客モデル地区として整備する。(商人文化の街「南船場・心斎橋・長堀」と食文化の街「道頓堀」、2つのゾーン毎に整備。)



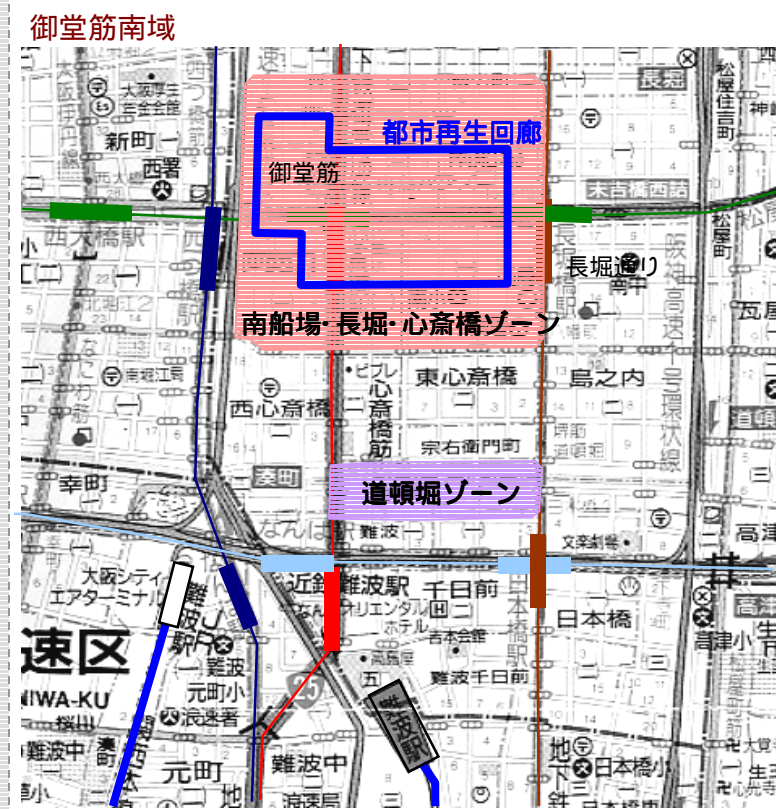
■ 整備イメージ

「南船場・長堀・心斎橋ゾーン」

- 「南船場・長堀・心斎橋」地区は、滞在・回遊・交流できる「おしゃれな大人の散歩道」として、東西南北の通りを核に、面的な街づくりを進める。地域コミュニティを基本に、地元の集客素材をフル活用して様々なイベント等が行なわれる「にぎわい空間」をつくる。
- 特に、本ゾーンにおいては、既に街づくりNPO「長堀21世紀計画の会」より「集客特区」の具体的提言がなされており、この実現に向け協働していく。



Photo:Takahiro Hiraoka



「両ゾーン共通」

- 『感動集客特区』に必要な不可欠な条件は、安心・安全・清潔な街として、不法駐車や駐輪がなく、歩きやすい、清潔な街であること。大阪市では、関係する条例が施行されているが、徹底が図られていない。各条例の実を上げるため、民間委託等を含めた要員の増強、集中キャンペーンの展開、違反者への罰則強化等を実施。

「道頓堀ゾーン」

- 道頓堀は、約 350 年の歴史を有する商店街で、芝居 5 座(竹田座、豊座、中座、角座、竹本座)を有した日本有数の舞台芸術の伝統があり、またくいだおれ大阪の「食文化」のメッカでもある。まさに大阪の生活文化を象徴するエリアである。
- 道路や河川といった公共空間の集客活用をさらに進め、楽しく歩ける快適・安全な「にぎわい空間」を整備する。



■ 『感動集客特区』での具体策(改革すべき規制・制度等)

南船場・長堀・心斎橋ゾーン

具体策

- 「都市再生回廊」の実現(国、大阪市、経済界への要望)
- ・ 御堂筋と長堀通の交差点を中心に地域内を回遊する「都市再生回廊」を整備。
- ・ 遊歩道整備等の各種モデル事業をパイロット的に実施。

具体策

- 歩行者天国の実現(大阪府警、大阪市、経済界への要望)
- ・ 街の賑わいを大きくするため御堂筋南域で大道芸人フェスティバル、アジアアートの見本市等を開催。
- ・ そのための「歩行者天国」の実現。

具体策

- 「街づくり活動拠点」の整備(大阪市、経済界への要望)
- ・ まちづくりを継続的な活動にするため、(1) 情報発信機能(2) 商人文化、生活文化体験機能(3) まちづくり活動運営機能等を備えた活動拠点を整備。

道頓堀ゾーン

具体策

- 道頓堀での「夜市」開催(大阪府警、経済界への要望)
- ・ 道頓堀らしいにぎわいを取り戻すための「夜市」の開催。

具体策

- ホスピタリティアップ運動の展開(商店街・料飲組合等、経済界への要望)
- ・ 道頓堀の「食文化」を一層堪能するための運動を展開。(外国語メニューや写真入りメニューの常備等)。

具体策

- 道頓堀川遊歩道整備の早期実現(大阪市、経済界への要望)
- ・ 遊歩道整備の早期実現。
- ・ イルミネーション等の設置促進策の実施。

両ゾーン共通

具体策

- 不法駐停車の徹底取締り、民間委託範囲拡大(国、大阪府警、大阪市への要望)
- ・ パーキングメーターのチェックや、レッカー移動に限られている不法駐停車取締りの民間委託範囲の拡大。

具体策

- 不法駐輪の撤去徹底(大阪市、経済界への要望)
- ・ 「自転車等の駐車の適正化に関する条例」に基づく撤去の徹底。
- ・ 保管料の値上げ、撤去頻度の増加、代替駐輪場の確保、集中撤去キャンペーン等の実施。

具体策

- 「路上喫煙禁止条例」の制定(大阪市、経済界への要望)
- ・ 東京都千代田区と同様の「路上喫煙禁止条例」を大阪市においても制定、罰則を設けて取締り強化。

具体策

- 公共空間の違反広告物の撤去(国、大阪市、大阪府警、経済界への要望)
- ・ 違反広告物の取締り徹底。
- ・ 市民による違反広告物撤去制度の周知、活用。

具体策

- 市民集客活動の制度づくり(大阪市への要望)
- ・ 市民団体等の集客事業継続のための制度を強化。